

死亡災害ゼロ・アンダー190 伊勢

令和6年
12月号

令和6年 労働災害発生状況

伊勢労働基準監督署
速報値

伊勢労働基準監督署管内（伊勢市、鳥羽市、志摩市、度会郡）において令和6年1月1日から11月30日に発生した、休業4日以上之死傷者数（新型コロナウイルス感染症に係る疾病者を除く。）は、11月末時点で当署に報告があったもので、**死亡者数は2人、休業4日以上之負傷者数は222人**となっています。

業種別では小売業（40人）や、社会福祉施設（32人）、旅館業（15人）といった第三次産業での災害が多く発生しています。

事故の型では、転倒災害が最も多く発生しています。

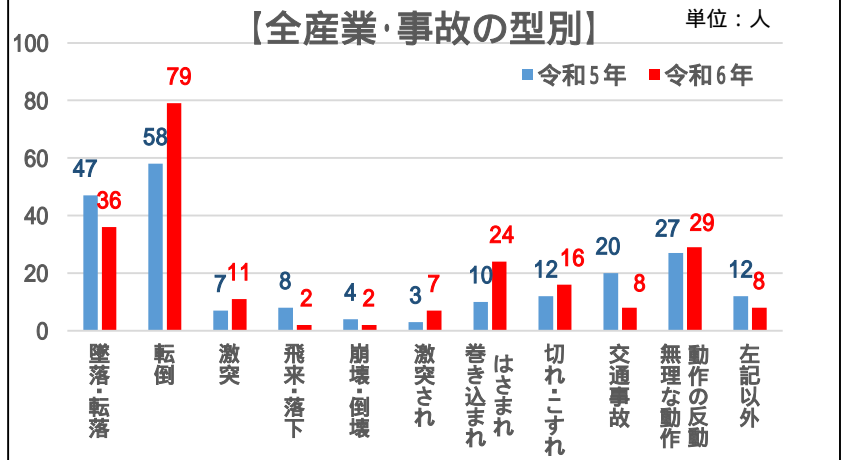
特にこれからの季節は、地面の凍結や寒さで体がこわばるなど、冬季特有の転倒災害につながる要因が増えてきます。伊勢労働基準監督署では、FC.ISE-SHIMAと連携し、新ver.の腰痛・転倒予防体操を公開しております。ぜひ、ご活用ください。



【令和6年 休業4日以上之死傷災害発生状況 伊勢署】

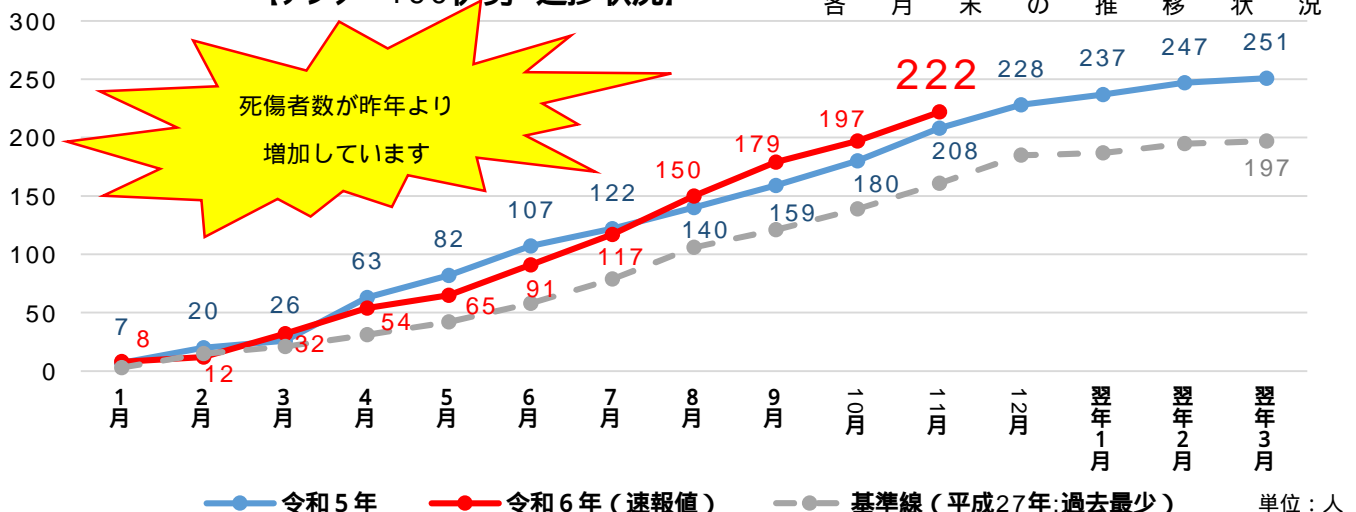
業種	令和5年		令和6年		前年比	
	死亡	死傷	死亡	死傷	(死亡)	(死傷)
全業種	1	208	2	222	+14	+6.7%
製造業		34		32	-2	-5.9%
建設業	1	31	1	25	-6	-19.4%
道路貨物運送業		8		13	+5	+62.5%
林業		6		4	-2	-33.3%
小売業		36		40	+4	+11.1%
社会福祉施設		21		32	+11	+52.4%
旅館業		20		15	-5	-25.0%

【全産業・事故の型別】



【アンダー190伊勢 進捗状況】

休業4日以上之死傷者数
各月末の推移状況



令和6年度 年末年始無災害運動

～今年もやります！ 基本作業の徹底 年末年始も無災害～

12/1

実施期間

→ 1/15

令和6年12月

令和7年1月

年末年始無災害運動は、働く人たちが年末年始を無事故で過ごし、明るい新年を迎えることができるようにという趣旨で、昭和46年から厚生労働省の後援のもと中央労働災害防止協会が主唱する運動です。一年の締めくくりを笑顔で送り、災害のない明るい新年を迎えるために、「安全最優先」の考え方を基本に、あわただしい時期にこそ、作業前点検の実施、安全な作業方法の確認などを着実に実施しましょう。



詳細は、中央災害防止協会 HP へ (<https://www.jisha.or.jp/campaign/musaigai/index.html>)

年末年始無災害運動 事業場実施事項

(1) 年末年始に実施する事項

- ☑ 経営トップによる安全衛生方針の決意表明
- ☑ 安全衛生パトロールの実施
- ☑ 機械設備に係る一斉検査および作業前点検の実施
- ☑ 年末時期の大掃除等を契機とした5Sの徹底、掲示や旗の掲げ替え
- ☑ 年始時期の作業再開時の安全確認の徹底等々

(2) 年末年始に実施状況を確認する事項

- ☑ KY(危険予知)活動を活用した非常作業における労働災害防止対策の徹底
- ☑ 保護具等の点検と整備・更新
- ☑ 化学物質のリスクアセスメントの実施を含めた化学物質管理の徹底
- ☑ 転倒、墜落・転落、はさまれ・巻き込まれ災害防止や腰痛予防対策の徹底
- ☑ 火気の点検、確認等の火気管理の徹底
- ☑ 交通労働災害防止対策の推進
- ☑ 過重労働をしないさせない職場環境づくり等々

非常作業時の災害に気を付けよう！

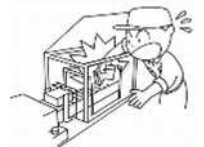
年末の大掃除や設備の総点検、修理等を行うような普段行わない作業(非常作業)では災害が発生しやすくなります。

事前に行うこと

作業の進め方を事前に確認し、全員で**安全な作業方法を計画**しましょう。

作業中徹底すること

機械の掃除・点検・修理等においては、必ず**電源をオフ**してから作業に取り掛かりましょう。



脚立を使用するとき

機械や柱の上など高いところを掃除する場合や、電灯の取り換えを行う場合などで脚立を使用するときは、**正しい脚立の使い方**を守りましょう。



- 1 天板の上に乗らない。脚立にまたがらない。
- 2 脚立は水平な安定した場所に設置する。
- 3 脚部に滑り止めの付いた脚立を使用し、開き止め金具を確実にロックする。
- 4 踏さん上で作業する際は、足を軽く開き、脚や膝を軽く天板に当てて体勢を安定させる。つま先立ちは危険！
- 5 周囲に「作業中」などの注意喚起の表示をする。
- 6 脚立は原則として2m未満のものを使う。

お問合せ先 伊勢労働基準監督署 安全衛生課

TEL 0596-28-2164

伊勢労働基準監督署からのお知らせ 検索

